

平成28年 8 月定例会議事録

平成28年 8 月 8 日

鹿屋市教育委員会

○日 時 平成28年8月8日(月)
15時から16時05分まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	中 野 健 作
教育長職務代理者	風 呂 井 敬
教育委員	志 村 正 子
教育委員	蓑 田 繼 男
教育委員	黒羽子ひとみ

○関係者

教育次長	川 畑 晴 彦
教育総務課長	深 水 俊 彦
学校教育課長	中 山 春 年
生涯学習課長	榊 眞 一
教育総務課長補佐	有 村 道 尚
教育総務課管理係長	浅 井 和 成

○議事日程

- 1 開会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 議事
 - (1) 議案第13号 鹿屋市小規模校入学特別認可制度実施要綱の一部改正について
 - (2) 議案第14号 平成28年度鹿屋市一般会計補正予算（第4号）に係る意見の申出について
- 5 報告
 - (1) 女子高活性化検討委員会の協議状況について
 - (2) 南部学校給食センター調理配達等業務委託及び鹿屋東中学校給食調理業務委託の締結について
- 6 動議の討論等
- 7 その他
- 8 閉会

○議決事項

議案番号	件名	審議の状況	採決次第
議案第13号	鹿屋市小規模校中学特別認可制度実施要綱の一部改正について	特記事項なし	原案可決
議案第14号	平成28年度鹿屋市一般会計補正予算(第4号)に係る意見の申出について	特記事項なし	原案可決

○議事要旨

1	開 会
教育長	<p>鹿屋市の夏祭りも無事、盛大に終わった。夏祭りの踊りには、教育委員会から約10人が参加した。</p> <p>先週の金曜日に第3回「平和の花束2016」がリナシティであったが、約350人と多くの方に来ていただいた。作文メッセージについて審査員からは、良い作品が多く、特に小学生は賞を選ぶのに苦労したとのことであった。</p> <p>明日から2泊3日でカピックセンターにて、新しい試みとしてイングリッシュキャンプが行われる。大きく成果が見えているわけではないが、取組としては汗を流しながら頑張っている状況である。</p> <p>懸案であった学力向上に関しては、予算をかけて全小中学校で行われているNRTというテストがあるのだが、これによると非常に小学校が良い傾向、中学校2、3年生があまり良くない傾向にある。低学年から改善傾向が見られる状況である。</p> <p>暑い夏を夏バテしないよう乗り切っていかなければならない。今日も議題がいくつかあるが、よろしく願いしたい。</p>
2	前回の議事録の承認
教育長	異議なく承認
3	教育長及び委員の報告
志村委員 学校教育課長	<p>先月28日に県庁で行われた市町村教育委員研修会に参加した。内容は、本市でも活用されていると思うが鹿児島学力支援WEBシステムについてであった。</p> <p>本市の全学校でも活用しているとの報告を受けている。</p>
4	議事
学校教育課長 蓑田委員	<p>(1) 議案第13号 鹿屋市小規模校入学特別認可制度実施要綱の一部改正について</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>花岡小・中学校と記載されているが、花岡学園ではないのか。</p>

教育長	小中一貫教育には、「義務教育学校」と「一貫型小・中学校」がある。義務教育学校となると、小・中学校が一つの学校扱いとなり花岡学園となるが、現在の花岡小・中学校は一貫型小・中学校であり、正式名称は花岡小学校と花岡中学校と別々になる。
風呂井委員	申込期限は絶対なのか。
学校教育課長	申込期限後に関しては、他の制度の活用等で対応してきた。
風呂井委員	申請があったものに関しては、全て許可するのか。
学校教育課長	児童生徒が転校することで学級減になりそうな場合は許可を出せないケースもある。
風呂井委員	保護者に理解いただけるのか。
学校教育課長	要綱に規定している。
教育長	この制度は特別な理由がなくても、良い環境で、また自然豊かな場所で学ばせたいという事であれば許可できる制度だが、不登校やいじめ等の特別な理由があれば、この制度でなくても校区外申請で対応できる。
黒羽子委員	校区外申請は、子どもの住所変更をしなければならないのか。
学校教育課長	住所変更の必要はない。
教育長	ほかに質疑、意見等がないので議案第13号について採決する。原案可決とすることに異議はないか。 (異議なしとの発言) 異議がないので、議案第13号は、原案可決とする。
	(2) 議案第14号 平成28年度鹿屋市一般会計補正予算(第4号)に係る意見の申出について
教育総務課長	資料に基づき説明

<p>風呂井委員</p> <p>教育長</p>	<p>補助分を一般財源で賄うことになるのか。</p> <p>過疎債及び合併特例債は、後年度で70%交付税措置があるが、30%は一般財源で賄うことになる。</p> <p>ほかに質疑、意見等がないので議案第14号について採決する。原案可決とすることに異議はないか。</p> <p>(異議なしとの発言)</p> <p>異議がないので、議案第14号は、原案可決とする。</p>
<p>5</p>	<p>報告</p>
<p>教育総務課長</p> <p>養田委員</p> <p>次長</p> <p>風呂井委員</p> <p>教育長</p>	<p>(1) 女子高活性化検討委員会の協議状況について</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>市立看護専門学校と女子高に併設して5年過程でいけるのではないか。</p> <p>看護科の設置は、人件費や教員確保の問題がでてくるので厳しいのが現状である。</p> <p>総合選択制を導入した場合、教員確保はできるのか。</p> <p>現在、お花等の選択授業では地域の外部講師に非常勤でお願いしているのだが、同様の形態で検討中である。</p> <p>女子高活性化の近況報告だが、検討委員から近年資格取得で日本一になる等素晴らしい成果を挙げているが、多様性を求めることで資格取得に割く時間が減るのではないか等の意見もあったが、主に資格取得を目指している商業科と生活科は普通科に比べて週2時間授業数が少ないため、そこを同じ授業数に調整することで今と変わらない時間を資格取得のために割けると考えている。今の女子高の良さを残しながらも、多様な進路にどう対応していくか検討中である。</p> <p>建築に関しては、PFI活用を検討中である。高校内に実習に役立つコンビニや保育施設、介護施設又は若い母親が利用できるような施設を入れたらどうかという案が出ているところである。</p> <p>通学に関しても、バス路線で一番利用の多い寿地区から女子高への</p>

	<p>通学は北田で乗換えを要し、時間的にスムーズに行かない等の問題があるため、今後検討していかなければならない。</p> <p>本日、第1回中学校3年生進路状況調査の結果が県で発表される。大隅半島における中学生が今年度約80人減になるため、どこの高校も希望者が少なくなっているが、鹿屋女子高は商業科と情報ビジネス科が大幅に減ると予想している。鹿屋市内の高校では、鹿屋高校が最も苦戦し昨年より約40人減だと聞いている。また、楠隼高校も同様に苦戦しているようだ。</p>
風呂井委員	大隅半島には、短大等もないため検討してはどうか。
教育長	街の活性化等の大きな視野で見ると必要だと思うが、そうなると教育委員会だけの問題ではなくなる。
教育総務課長	<p>(2) 南部学校給食センター調理配達等業務委託及び鹿屋東中学校給食調理業務委託の締結について</p> <p>資料に基づき説明</p>
志村委員	(株)総合人材センターはなぜ不採用だったのか。
次長	県内に実績はあったのだが、審査委員会で地元を押し声や福利厚生等のトータル的に検討した結果、この点数となった。
6	動議の討論
教育長	発言がないので、動議はないものとする。
7	その他
各課長	資料に基づき説明
教育長	次回の定例教育委員会は、9月2日(金)15時から教育長室で行う。
8	閉会
教育長	<p>以上をもって8月定例教育委員会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>